



あべ民子議会報告号外

吉川新駅概算で79億の試算

レイトタウン駅は36億円!

JR東日本と覚書(協定)締結に

補正予算で概略・詳細設計費2億円の負担を可決

新駅建設はJR武蔵野線沿いの細長い約30ha操車場跡地を所有者の鉄道運輸機構(旧国鉄清算事業団)が処分することと密接に関連しています。市の新駅構想を先取りし県の都市計画決定が行われる予定で、売却処分が順調に進むようにとの思惑があります。開発の視点からみれば新駅東側(60ha)の整備に関心が及ぶところですが都市計画決定に含まれていません。

どんな駅なの? 予想される吉川新駅の姿

78億円の概算費用、JRが29億円、残り49億円を吉川市が負担。
JRの費用は折り返し一線分の設備費です。

市は所有者の鉄道運輸機構に多くの負担を求めたい意向です。
始発なし。(災害時の折り返し可能な一線分増設のみ)

立体交差のない地上駅 <南北自由往来なし>、新駅東側の開発・道路整備は含まれず、きよみ野・新栄など現市街からの利用は大変不便と予想されます。

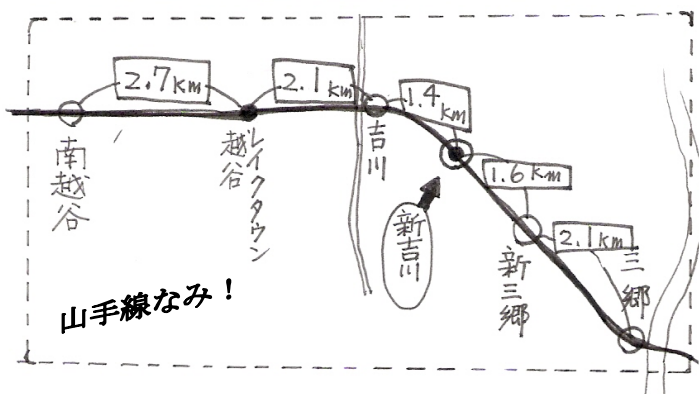
請願駅の原則、吉川市の全額費用負担だが?

河川(上第二大場川)、隧道(線路下トンネル)、跨線橋は経費がかさみ既設物の使用を予定。

費用のかさむ原因は
・二面三線にすること
・1日4時間程度の夜間工事
・軟弱地盤であること

なぜ駅をつくるの? 私の主張=納得いかずひとり反対

市財政状況は吉川・松伏合併構想時の試算では毎年10億の赤字のはずです。財政健全化計画の中で民生費の削減で市財政は何とかやりくりしている現状です。市民に対して「新駅」関連の広報なし。議会総務委員会でも明確な市負担限度額の説明なし。現駅利用の市民にメリット少ない新駅設置。現駅、駅前広場の改良実施が先なのは。近隣開発に出遅れた今、負担に見合う計画なのか市長の説明なし。武蔵野操車場跡地活用に手塚治虫ワールドなどが噂されたが具体化せず需要見込みは希薄



なぜ反対? 事実上のゴーサイン

<財政負担と必要性>
吉川新駅と庁舎建設はずっと吉川市のものに刺さった小骨のように懸案事項として浮沈をくり返してきた問題です。国鉄解体によって生まれた東部に残る最大の「武蔵野操車場跡地」は19年度末までに都市計画決定し処分するとの国の方針を受け、三郷市側は昨夏、一括で三井不動産が約百億

億円も高く買い、跡地には『ららぽーと』や北欧家具の『イケヤ』の大型店の進出がきまり、

急ピッチで整備が進んでいます。開店は半年から1年程度遅れる見込みです。

一方、南越谷と吉川の間には越谷レイクタウンの開発も進み、武蔵野線の車窓からは20年3月15日開業予定の越谷レイクタウン駅が日々駅として整いつつあることを目の当たりにします。この二つの大型開発の挟間で、この機を機においては新駅開設のチャンスはないとの思惑に無理はないのでしょうか。

吉川市は人口増のためラッシュ時の駅の混雑解消と新駅周辺開発を進めたい、そこに運輸機構の跡地処分、そしてJRの武蔵野線の災害対策としての折り返し線の設置の3者がからんでの新駅。6万4千人の市に負担能力はありません。79億円のうち29億はJRが「2面3線」の折り返しの「3線」の部分の整備費用として負担、残り49億円については財政力のない市の負担を跡地所有者の運輸機構がどのように勘案してくれるのかが問題です。「財政力のない市の実情は理解されており、12月議会では明確な負担割合や金額は明示できない。」と市長答弁。将来の市民負担がどうなるか、市長はきちんとした責任を負わなければなりません。そして議会のチェックが機能しなければならないのは勿論です。本来なら新駅問題は住民投票にかけられるべき事項です。有権者は1月27日予定の市議会議員選挙の各立候補者に新駅に対する賛否を尋ねてほしいと思います。吉川市独自のまちづくりをじっくり見直し、見極める時ではないでしょうか。

○市長含む3役・議員報酬増額へ！ <議員報酬3万円引上げ> H20年4月から

数々の民生費の削減が続いている中、議員定数を減らした(26→20)とはいえ、財政は大変厳しく、更に新駅建設設計費など新たな支出も始まっています。今期の議会チェック機能も栄小通学区問題など、十分に果たせたとはいえません。市民の皆さんに理解しがたい条例が12月議会に提出され自民・公明・市民会議の賛成で可決されました。

今回の改訂で期末手当が4.35から4.5ヶ月となり年額約535万円が58万円増の593万円になります。最も上げ巾の高い常任委員長や議運委員長は年額約556万円が63万円増の619万円に。引き上げなければ約1100万円余が民生費に使えたのに残念です。

○吉川松伏消防組合議会議員の定数削減に伴う報酬改定なし

消防組合議会議員の定数削減については各構成市の9月議会で可決され、吉川市は6→5、松伏町5→4の2名減となります。一番身近な消防・救急救命に対して市民意見を届ける議員数が、財政削減の観点から減らしてしまっよいか大変疑問です。吉川市議会で消防議会で十分な説明や議論の場を設けなかったことを問題とし、報酬をさげても今の人数でと提案しましたが、結局、自民・公明の多数で可決してしまいました。更に12月消防組合議会では定数削減に関連して報酬値上げを考えているのかと質問しました。財政削減からの提案であり、値上げはしないとの回答でした。

○あべ・いとうのミニニュース <新たなコンビニ出店3つ>

駅北口きよみ野行きバス停斜め後ろの駐車場が整地されました。セブンイレブン(649㎡)、駐車6台分のスペースを確保、車の出入りは北側に。バス停そばで待ち時間の買い物には便利ですが、雨や雪の日など駐車場代わりに混雑することにならないか。いささか心配も。

中川沿い県道(吉川松伏線)、駅から250m南。同じくセブンイレブン(1200㎡)、駐車は普通13台、大型1台分。既に店舗が建ち上がっています。2月中工事完了予定。3月開店か。

吉川高校入口北側。ファミリーマート(1600㎡)、駐車場は普通14台、大型2台分。